



全国高等学校駅伝競走大会(京都市)にて【八幡浜高校陸上部】

11月臨時会・12月定例会の概要

平成28年11月臨時会は11月16日に開会・閉会し、市長提出の1件が上程され原案のとおり可決、決定されました。

平成28年12月定例会は、12月6日に開会し、16日間の会期で21日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の条例案10件、予算案12件、その他5件、計27件、また議会から請願2件、議員提出議案1件が上程されました。

その内、請願40号は取下げ、41号は不採択、その他の案件については、原案のとおり可決、決定等されました。

【12月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
6日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
12日(月)	本会議	一般質問(4名)
13日(火)	本会議	一般質問(2名)
14日(水)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	総務委員会
15日(木)	委員会	民生文教委員会
16日(金)	委員会	民生文教委員会 産業建設委員会
21日(水)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は3月に開催の予定です。

議案等別表決一覧表

平成28年11月臨時会（会期：平成28年11月16日）

平成28年12月定例会（会期：平成28年12月6日～平成28年12月21日）

○：賛成、×：反対、欠：欠席、棄：棄権
（上田浩志議長は採決に加わっていません）

番号	件名(摘要)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	審議結果	
		西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	岩淵治樹	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田康史	新宮康史	上田浩志	井上和浩	遠藤素子	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	萩森良房		
11月臨時会																			
議案第82号	宮内地区公民館新築建築主体工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
12月定例会																			
認定第1号	平成27年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成27年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成27年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	認定
議案第83号	八幡浜市過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第84号	八幡浜・大洲地区ふるさと市町村圏基金の取崩しに伴う権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第85号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第86号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第87号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第88号	八幡浜市議会議員及び八幡浜市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第89号	八幡浜市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第90号	八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第91号	八幡浜市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	原案可決
議案第92号	八幡浜市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	原案可決
議案第93号	八幡浜市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	原案可決
議案第94号	八幡浜市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第95号	八幡浜市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第96号	八幡浜市民会館条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第97号	八幡浜市民会館運営審議会条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第98号	平成28年度八幡浜市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○	原案可決
議案第99号	平成28年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第100号	平成28年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第101号	平成28年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第102号	平成28年度八幡浜市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第103号	平成28年度八幡浜市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第104号	平成28年度八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第105号	平成28年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第106号	平成28年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第107号	平成28年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第108号	平成28年度八幡浜市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第109号	平成28年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第40号	T P P協定の慎重審議と農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願書																		
	請願第40号の取り下げの件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	許可
請願第41号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	議長	×	○	×	×	○	×	不採択
議員提出議案第5号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	原案可決

市政をただす 一般質問



今定例会では、6人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたしました。

質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者			
No	質問者	No	質問者
1	遠藤 素子	4	佐々木加代子
2	河野 裕保	5	大山 政司
3	萩森 良房	6	石崎 久次

会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



遠藤素子議員

質問事項

- 1 子育て支援について
- 2 暮らし・福祉の充実について
- 3 同和対策事業の解決について
- 4 原発にかわる自然エネルギーの活用について
- 5 市民会館の跡地利用について

子育て支援について

問 若い世代にとって、結婚や子育てが経済的に大変厳しいものになっている。人口減少対策は当市にとって、最優先の課題だが、子育ての厳しい環境を改善することが今求められる。子ども医療費の中3までの完全無料化は、県下20市町の中で、14市町（7割）まで進んでいる。当市でも取り組むべきではないか。

答 無料化を実施すれば、年間4千万円から6千万円くらいかかり、重大な決断となる。近隣の南予3市の状況も見ながら、検討課題とする。

暮らし・福祉の充実について

問 人間年を取れば医療や介護の利用が必要になり、社会保障費が自然に増えるのは当然である。ところが安倍政権は、この自然増6千400億円を1千400億円削って高齢者に負担させようとしている。このような状況下、国保税や医療費の条例減免制度がありながら、十分に知られていない。周知を徹底して、救える人を救ってほしいがどうか。

答 国保税の減免については現在、市のホームページに掲載しているが、今後は、広報や当初納税通知書の発送時などの周知を検討する。医療費の減免制度については、7月下旬の国保被保険者証更新時期の一斉送付の際に同封する。

問 国保税が高くて悲鳴が上がっている。支払回数を8回から9〜10回払いにならないか。

答 県下11市の国保税の納期は、本市と同じ8期が4市、9期が5市、10期が2市である。今後考えていきたい。

原発に代わる自然エネルギーの活用について

問 多くの学者が、この佐田岬半島にもどんな地震が起こるかかわらない。M8から9の地震に備える必要があると訴えている。万一、巨大地震によって伊方原発で過酷事故が起これば、みかんも魚も故郷も捨てることになる。それを守るための最も確かな道は、原発をなくし、公共施設に太陽光パネルの設置等自然エネルギーを活用すべきではないか。

答 福島のような災害が発生すれば、当市ではみかん産業を含め壊滅的な被害が発生することは事実である。それを発生させないために、新規基準では、仮に福島のような事態に陥った場合でも放射性物質による影響が100分の1程度になるように基準が設定されている。なお、事故以外にも原子力発電には問題があり、他のエネルギーの開発なども踏まえながら、将来的には廃止する方向に向かうべきものと考えている。太陽光パネルは、費用対効果の面から考えて設置は難しい。



河野裕保議員

質問事項

1 みかんのまち八幡浜市の100年戦略について

① みかん栽培100年の歩み等について
問 本市における柑橘栽培100余年の歴史を振り返っての所見及び、今後、みかんのまち八幡浜市の柑橘産業をどう発展させ、持続可能性を担保していくか。

答 先人の努力と国・県による基盤整備等により、全国トップクラスのみかん産地に発展し、本市の基幹産業に成長した。この産業構造を後世にバトンタッチできるように、第2次総合計画を策定し、農業振興を主要課題に掲げ取り組んでいる。後継者の育成、収穫期労働力の確保、農作業の効率化、6次産業化の推進等消費者ニーズを先取りした積極的な農業施策を推進する。

② みかん農家の家族形態について

問 理想的な柑橘農家の経営体は、常に2世代の夫婦4人で家族経営を行うことである。大規模経営を可能とし、技術・技能の伝承が図られ経営の安定化をもたらすからだ。現状は担い手不足等により世代交代が進まず、規模縮小や離農等のケースが増えている。打開策はどうか。

答 農業センサスでは、柑橘販売農家1千562人のうち65歳以上経営者が649人で41.5%、農業後継者のいない農家は913人で58.5%となっており、高齢化と後継者不足を認識している。目下は、Uターン就農などで家族内での引き継ぎがスムーズに行われているが、今後は家族子弟だけで

産地を維持していくのは困難になりつつある。そこで、本市の具体的な取り組みとして、平成26年度に、愛媛県、JAにしゅうわと共に、西宇和みかん支援隊を結成し、季節アルバイト等による労働力の維持、Iターン就農者の確保、国の青年就農給付金事業等の活用により担い手の確保に積極的に取り組んでいる。

③ AI、ロボット等のイノベーションによる第4次農業革命について

問 土地生産性を上げ、高品質のみかん栽培に欠かせなくなってきた点滴灌水施設整備の実態、及び方向性はどうか。

答 近年、高品質果実の安定生産、農作業の省力化、水・肥料等の費用削減効果などで、マルチドリップ栽培の関心が高まっている。八西地区においては、平成22年には10aであった圃地が、平成27年には3000aに拡大。現在県と市が連携して、既存のスプリンクラー自動施設に個別取水可能な施設の追加整備を検討している。

労働生産性向上を図るための予備選果場の建設等共同選果場再整備計画は。

答 各共同選果場に予備選果用の選果機導入については、営農継続と労働力軽減に効果的である。ただし、選果機の償却年限、農家の負担、用地の確保等様々な条件整備が必要で実施に至っていないが、JA、各共選の意見を伺い検討したい。



萩森良房議員

質問事項

- 1 大城市長来年4月の市長選挙出馬について
- 2 平成29年度予算編成方針と重点政策について
- 3 八幡浜市の振興施策について
- 4 八幡浜市民会館廃止による跡地の活用について

大城市長来年4月の市長選挙出馬について

問 大城一郎八幡浜市長が29年4月の市長改選期に3期目を目指して出馬されるのか率直な所信を伺う。また、今後の重要政策についても併せて伺う。

答 八幡浜市をよくして元気にしていきたいという情熱はさらに強くなっており、市民の皆様にご支持をいただけるのであれば、市政の発展のため、引き続き全力を挙げて3期目の市政運営をしていきたい、当たらせていただきたいと思います。

また今後は農業、漁業の振興はもとより、結婚、出産、子育ての環境整備、移住・定住促進による人口減少対策、保内及び八幡浜の総合児童福祉施設の整備、子供の教育環境確保の観点からの学校再編、養護老人ホーム改築など高齢者等の保健・福祉の向上、歴史的建造物を活用したまちづくり、川之石地区交流拠点施設の整備、市民会館跡地を活用した文化教育施設の整備、菊池清治邸の活用、新町、矢野町、千代田町及び大黒町等の中心市街地の活性化、農産物加工施設を活用した6次産業化の推進、駅前広場整備事業、四国の西の玄関口としての九州との交流事業、さらなる臨港地区の再開発、フェリー港の早期整備、地域高規格道路の早期完成など、現在取り組みを強化しているこれらの重要施策を引き続き着

八幡浜市の振興施策について

問 日本農業遺産の目的とその成果についてどう考えるか。

答 日本農業遺産が認定されれば、世界農業遺産の認定申請が可能となる。世界農業遺産の認定を受けることで、新規就農者の拡大や南予地域の知名度やイメージの向上、日本有数のかんきつブランド力のさらなる認知度向上、ファン拡大等が期待されると考える。

日本農業遺産認定の見通しについてはどうか。

答 八幡浜市を含む南予地域では、急峻な地形を切り開き、干ばつや台風などの災害などにも立ち向かいながら農業に取り組んでおり、今日では日本一のかんきつ産地を形成している。この地域のかんきつ農業システムは世界に誇れるものであり、世界的、国際的に重要な農業システムとして日本農業遺産の認定を目指し、昨年9月5日に愛媛県南予地域農業遺産推進協議会が設立されたところである。

平成28年11月24日、1次審査を通過し、2次審査は平成29年2月に行われるため、3月中には日本農業遺産の認定地域が決定する予定である。



佐々木加代子議員

質問事項

- 1 防災行政無線音声自動応答サービスについて
- 2 防犯灯のLED化について
- 3 子育て支援について

防災行政無線音声自動応答サービスについて

問 防災行政無線の戸別受信機が設置される時期は。

答 平成29年度に実施設計を行い、その後計画的に戸別受信機を含む防災行政無線システムを整備したいと考えている。

問 音声自動応答サービスの、フリーダイヤルと覚えやすい番号への変更を要望したいがどうか。

答 通話の無料化や覚えやすい番号に変更するなど、サービスの改善について検討を行いたい。

防犯灯のLED化について

問 古くなった防犯灯のLED灯への更新設置に関しては補助がない。半額補助や年間交換数の上限を決めての補助などをすべきたと思うがどうか。

答 老朽化した防犯灯のLED更新の補助について、市の単独事業として来年度から実施できるように現在検討している。

中学生までの医療費無料化について

問 支援策を2つ紹介する。1つ目は、1人につき500円券の20枚綴り1万円分のチケットを渡す。1回の受診で500円を助成し、オーバーした分は自己負担。年間で20枚のチケットで使用しなかった金額分の図書券や地域で使える買い物券・温泉入浴券などに交換できるというもの。もう1

つの事例は、医療機関で500円だけは自費で支払い、残金は行政の補助があるというもの。即無料化ができないのであればこういうやり方もあるがどうか。

答 全く無料にするのではないというアイデアをいただいたが、市でも検討する中で最終的にはまだ着地していない。このような中間的なアイデアも含めて勉強させていただきたい。

第3子の保育料無料化について

問 八幡浜市の将来を見据えたとき、今考えないで先送りすることがどんなに危機的状況になるのか。近隣市町では既に行われている第3子保育料無料化に対する考えを伺う。

答 市としても、保育料の負担軽減についてどのような取り組みが可能か、今後検討していきたい。

就学前の発達障がい支援体制の充実を

問 発達障がいの早期発見と支援体制の充実に向けて5歳児健診を実施する必要があると思うがどうか。

答 軽度発達障がいの発見に有効な方策の一つとして認識しているが、医師を初め専門職の確保が難しい状況で、現時点での実施は困難。検討課題としたい。



大山政司議員

質問事項

- 1 空き家等対策の推進について
- 2 八幡浜市の全国「住みよさランキング」について
- 3 行政が行う具体的な活性化について

空き家等対策の推進について

問 愛媛県のホームページによると、本市の空き家総数は3千770で、空き家率は19.5%であり、県下11市中2番目に高い率である。本市における空き家等対策について、これまでの取り組みと今後の基本的指針について伺いたい。

答 本年4月に建設課に空き家対策係を新設し、今年度に入り、既に50件近い空き家相談が寄せられている。その中で、老朽化により倒壊する恐れがあり、周囲に対して被害を及ぼす危険性の高い空き家については、国、県の補助金を活用し、昨年度の実績で4件、今年度は15件程度、除却する予定である。

今後の基本的指針については、法務・不動産・防災・福祉等さまざまな分野の有識者による八幡浜市空き家等対策協議会を開催し、今年度中をめどに策定する予定である。

当市の全国住みよさランキングについて

問 8月4日総務委員会が福井県坂井市の行政視察を行ったが、坂井市は全国住みよさランキングで5年連続トップ5であった。この調査は、東京に本社がある東洋経済新報社が行っているが、本市は全国813都市の中777位である。所見を伺いたい。

答 住みよさランキングは公的な統計データをもとに、それぞれの市が持つ都市力や安心度、利便度、快適度、富裕度、住居水

準充実度に注目した15の指標について、全国都市の平均値を50とする偏差値を算出し、総合評価としてランキングされたものである。

これらの調査は極めて限られたわずかの指標で算出されており、ある種の切り口ではあるものの、必ずしも絶対的な住みよさをはかり得るものではないものと考えている。

行政が行う具体的な活性化について

問 えひめいやしの南予博2016では、八幡浜みなととで各種イベントが行われたが、市内各商店街への波及効果について、また、商店街を歩くと、目を疑うほどの件数でシャッターが下りている。八幡浜商店連合会の加盟店の推移について伺いたい。

答 市内の特定の店舗にもそれなりに「みなと」からの客の流れがあったものと思いついて、一部のイベントを除いて、中心市街地へ周遊するまでには至っていないかたのではないかなと思っています。

商店街の会員数は、平成28年3月末現在、新町、銀座、千代田町、大黒町の4つの商店街の合計は182名で、10年前と比較し40名、約18%減少している。

店舗数は、302件中102件、全体の34%まで空き店舗が増加している。現在、商店街が置かれている状況は大変厳しいものであると認識している。



石崎久次議員

質問事項

- 1 八幡浜市の発展について
- 2 危機管理について

八幡浜市の発展について

問 少子・高齢化、人口減が進む当市の現状、理由、対策を伺う。

答 マイホームを求めて土地の安価な近隣自治体への転出、高校卒業後進学した若年層が帰ってこない事由があり、今後八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、中心市街地の活性化・若い女性が住みたくなるまちづくりも視野に入れながら、雇用の場の確保、婚活支援、子育てしやすい環境整備、移住政策などに積極的に取り組み、帰ってきたいと思って頂けるようなまちづくりに取り組む。

問 財源不足を補うという点で「ふるさと納税」という近年制度化となったものがあるが、本年度の見通しと、今後どのような拡充に向けた施策を行っていくのか。

答 平成28年度予測は4億5千600万円前後ではないか。今後現行の120品目の特産品のさらなる拡充、高級特産品の開拓、特産品のセット代など、より魅力ある特産品開発により、3万円、5万円といった、より高額で寄付者が比較的寄付をしやすい区分の創設も検討していく。

危機管理について

過去の質問は原子力災害が起きて一時避難の後、松山までを取り上げてきたが、今回は、松山へ避難をした後の避難計画につ

いて伺う。

問 原子力災害対策編では、住民に対する情報伝達体制の整備について、市は県及び国と連携し、住民からの問い合わせに対する窓口の設置等について定めておくところが、その方法、体制とは。

答 市内全域が避難となった場合の仮庁舎など、現在のところは決定していない。

問 定めておくとなっているが、定めてなかったら避難対策にはならないのでは。

答 広域避難ということだから、市単独では決定できない。県、国と連携して設置をすることになっており現在も協議を進めている。

問 この対策編は26年度に作成されている。東日本大地震は23年3月。市長は昨年9月2日に県知事に伊方原子力発電所の再稼働に同意された。それから現在まですでに1年3ヶ月。この間にも一刻も早く、次なる指針を示すべきではないか。

答 この対策編は、最初に出来上がった避難計画であり、人の命を守るといったことを大前提に作られたものである。その後の避難生活は、いろいろと多岐にわたることが考えられるので、今後新たな所見が出てくるたびに書き直して、避難計画についても最後まで責任を持ってやっていくことを、今後突き詰めていく必要があると思っている。

総務委員会報告

樋田 都 委員長

八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 以前、市職員の給与が他市と比べて非常に高いという議論を行ったが、当時の理由は「みなと」オープンに伴ったイベント開催等の増加による時間外勤務手当の増加であるとの説明であったが、現在ではどうなのか。

答 前回は、平成25年4月分についての比較であったが、平成28年4月の給与額を同様に比較すると、依然、平均給与額が他市より高い状況である。この比較は4月のみの給与であることから、当市では4月に飛行大会、さくらまつり、そして5月開催のマウンテンバイク大会の準備作業等、イベントが非常に多い時期であること、また、職員の人員削減により一人当たりの業務量が増加しており、それに伴った時間外勤務手当の増加が主な要因である。

問 人事院勧告に伴い、若年層に重点を置いた給料表の改定を行なっているが、例えば、八幡浜と東京では民間の給与は異なると思うが、公務員の給与は全国一律であるのか、それとも、地域による是正措置が取られているのか。

答 公務員はストライキ等の労働基本権が制約されている。その代償措置として、国では人事院、県では人事委員会により民間との給与を比較して、法律又は条例により職員の給与を議会の議決を経て改定している。民間の給与水準と均衡させること、また、公務員として同じ仕事であれば同じ賃

金であるべきという同一労働、同一賃金という考え方に基づいたものである。

木多町団地5棟耐震診断・耐震補強設計業務委託料について

問 市営住宅の耐震化の実績、それに対する補助金および今後の事業計画について

答 市営住宅の耐震化は、平成25年度に策定した「八幡浜市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、平成26年度から平成35年度までの10年間に、社会資本整備総合交付金を活用し、国から2分の1の補助を受けて、順次進めることとしている。長寿命化計画に基づき実績としては、平成26年度に要田団地、今年度に湯島団地の耐震補強工事を実施している。耐震化については、基本的に前年の耐震診断・耐震補強設計を実施し、次の年に耐震補強工事を行う2か年サイクルで進めている。12月補正予算で計上している木多町団地5棟については、本来は29年度に耐震診断・耐震補強設計を行う予定であったが、今年度に実施した湯島団地の耐震補強工事で不用額が発生し、国の補助金を有効活用するため前倒しして行なうこととした。今後も順次計画に基づいて進めて行く予定である。

問 この計画で平成35年度までに全て完了できるのか

答 木造住宅及び非木造住宅のうち「政策空家」としている大谷口第一、新開町5棟・6棟については、耐震化の予定はない。政策空家とは、現在の入居者が全員退去され、取り壊す計画としている住宅である。なお、それ以外の市営住宅については、長寿命化計画に基づき、平成35年度までに耐震補強工事を行う予定としている。

民生文教委員会報告

佐々木 加代子 委員長

八幡浜市民会館条例を廃止する条例の制定について

問 市民会館を廃止するにあたって、市民会館運営審議会から示された、跡地利用に関する答申の内容について

答 跡地利用に関しては、必要な駐車場を必ず確保した上で、市民の芸術・文化、社会教育に資する施設の建設を要望されている。具体的には、文化財を保管・展示できる施設、偉人を顕彰できるような施設、会議室や中ホール等を備えた文化センターのような施設、近隣住民が避難できる施設などである。

問 市民会館は、開館してから43年が経過しており、施設の老朽化、それに伴う安全上の問題があるため廃止することだが、総合福祉文化センターも同様の問題を抱えているのではないかと。

答 総合福祉文化センターについては、来年度以降に、耐震診断を行う予定としている。

問 総合福祉文化センターは、そこにしかない独自性のある設備を有しているのか。

答 独自性のあるものとして陶芸室の設備がある。

問 耐震化するにも莫大な費用がかかること、独自性のある設備は移動することが可能であること、駐車場が十分に確保されていないことを考慮すると、その耐震化の予算を市民会館跡地の施設に組み込んで総合福祉文化センターの機能を加えた施設を整

備することが望ましいと思うがどうか。

答 現在、示されている答申の内容を全て満たした上で、総合福祉文化センターの機能を加えることは難しいと考える。総合福祉文化センターは1日平均、70名の利用者があり、充分必要性のある施設であるから、安全性・耐震性の問題をクリアして、その施設を継続して使用して行きたい。

問 跡地施設の規模を拡大し、総合福祉文化センターの機能を移すことができれば、今度は総合福祉文化センター跡地も有効活用でき、またそれがコンパクトシティの形成にもつながるのではないかと。また、市民会館跡地施設は必要な駐車場を完備する予定であるから、1日平均70名の方々の利用性が向上し、さらには中心市街地の活性化にもつながるのではないかと。

答 そのようなご意見を頂いたということをも市民会館跡地等検討委員会へ伝え、協議して頂きたいと思う。



産業建設委員会報告

平家 恭治 委員長

平成28年度八幡浜市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)について

問 新たに市営駐車場「千代田町ちゃんぼん駐車場」を整備することだが、現在の市営駐車場全体の収支決算の状況はどのようなになっているのか。また、そのうち黒字幅が大きい駐車場と赤字となっている駐車場はどこか。

答 平成27年度決算では、駐車場全体の使用料収入額が4千843万1千824円、管理経費が2千609万7千940円、差し引き2千233万3千884円の黒字となっている。そのうち北浜立体駐車場が約1千3百万円の黒字で一番黒字幅が大きく、その他についても新川駐車場以外は全て黒字となっている。新川駐車場については、約160万円の赤字である。

問 新川駐車場は、川の上に掛け出した形になっており、何年かごとに大規模補修をしなければならず、愛媛県からも駐車場を廃止するよう言われていると聞くが、今後は廃止の方向で考えているのか。

答 新川駐車場については、大体4年ごとに大規模補修が必要で来年度がその年となっており、愛媛県からも特例的な許可のため、廃止に向けた検討をしてほしいとの要請を受けている。そこらを踏まえ、毎年、検討委員会を開催し議論をしているが、今すぐ廃止するのは現実的に難しいということでも今回も許可の更新申請をしており、修繕費についても来年度の予算措置を考えている。

来年度、大規模補修を行えば、しばらくは使用していきたくないと考えているが、市民会館跡地の駐車場や今回の「千代田町ちゃんぼん駐車場」など、順次、代替えになるような駐車場を整備していきながら、新川駐車場が無くても市民に不便をかけない状況を目指していきたい。

問 新川駐車場については、定期利用者も多く、夜は満車になっている。一度廃止すると今後二度と許可は下りないと思うので、この駐車場は廃止にしないで有効利用していくべきと考えるがどうか。

答 現在、定期利用者が多くいるのも事実であり、「みなっと」でのイベント時の駐車場不足にも影響がでることなので、今後の在り方については利便性を損なわない形でどう整備できるか十分検討したい。

問 同じ市営駐車場でも、駅前駐車場は30分まで無料、新町角駐車場は15分まで無料、市民会館は全て有料など、料金体系が場所によって異なっている。今後、買い物や食事のために全てを30分無料にする等の考えはないのか。

答 市営駐車場の料金体系については、「千代田町ちゃんぼん駐車場」の整備が完成した時点で条例改正が必要になるため、その時に全体の見直しを検討したいと考えているが、このような投資が出来るのも駐車場会計全体が黒字であるためなので、一定の収支の見直しを見ながら出来るだけ要望に応えられるよう努力したい。

行政視察報告

委員会別	産業建設委員会	議会運営委員会
視察日	10月4日～10月7日	10月12日～10月13日
視察先	<ul style="list-style-type: none"> ○福島県白河市 <ul style="list-style-type: none"> ・アプリとDVDを活用した観光振興の取り組みについて ○岩手県紫波郡矢巾町 <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見越した管路網の最適化について 	<ul style="list-style-type: none"> ○三重県亀山市 <ul style="list-style-type: none"> ・議会のICT化について ○三重県鈴鹿市 <ul style="list-style-type: none"> ・予算決算委員会について
視察風景	 <p style="text-align: center;">白河市</p>	 <p style="text-align: center;">亀山市</p>
視察風景	 <p style="text-align: center;">矢巾町</p>	 <p style="text-align: center;">鈴鹿市</p>

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は、八幡浜工業高校のWRO(ワールド・ロボット・オリンピックアード)での世界大会2度目の優勝や、八幡浜高校女子陸上部の全国高校女子駅伝10年連続出場など、18歳選挙権施行の年にあたり、高校生が大活躍した年となりました。

そして本年は、市長及び市議会議員の改選の年。我々現職議員にとっては、未来ある子どもたちが誇れる八幡浜市づくりや、30代40代の若者が選挙に立候補できる環境づくりなどの課題が山積していますが、西年の本年、飛躍の年とできるよう、日々奮闘して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

佐々木加代子

《議会だより編集委員会》

- 委員長 平家 恭治
- 副委員長 西山 一規
- 委員 佐々木 加代子
- 委員 竹内 秀明
- 委員 河野 裕保
- 委員 岩淵 治樹
- 委員 新宮 康史

八幡浜市議会事務局
TEL(代) 22-3111

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会